

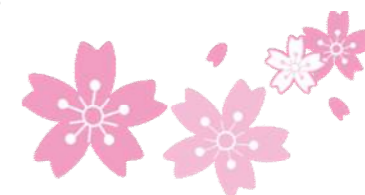


認定看護師 (Certified Nurse) とは



認定看護師 徽章

認定看護師制度は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的として日本看護協会で作られました。2016年1月現在、特定されている分野は21分野で、全国に15,817名、栃木県に186名がいます。とちぎメディカルセンターには、5分野5名の認定看護師が勤務しています。



皮膚・排泄ケア 小林雅世

皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得して6年目となります。この分野は、排泄や皮膚のトラブルを有する方を対象に専門的なケアを提供する看護師です。現在は、専従の褥瘡管理者として院内を横断的に活動し、褥瘡予防やケア方法などの指導を行っています。また、人工肛門や人工膀胱を造設する患者や家族、看護師にケア方法の指導を行っています。スキンケア外来では、退院後も患者が安心して日常生活を送れるよう支援しています。よろしくお願い致します。

認定看護師だよりの発行によせて

皆様、こんにちは。しもつが、とちのき、とちぎの郷の開院が間近になりました。この大きな変化を受け入れ、尽力されている皆様に感謝申し上げます。認定看護師会は、昨年度より発足し、組織内で活用されるための方策や後輩育成の支援等の活動を行ってきました。認定看護師の方たちは、今後さらに専門分野のスキルアップに力を注がれると考えます。是非、この人材を活用して看護の質向上を目指しましょう。
看護本部長 飯島

認知症看護 牛込和子

2012年に資格を取得しました。認知症高齢者の入院では、治療処置が優先される中で環境の変化に戸惑い、認知機能低下から混乱やせん妄を発症することがあります。加齢変化を含め、認知機能低下が日常生活にどのように影響し、何に困っているのかをアセスメントすることが必要です。その上で、療養環境を整え治療の継続ができるよう看護を行うために、自分自身がモデルとなること、専門知識を用いて多職種と連携しながら、退院支援を行うことも役割と考えています。よろしくお願い致します。

がん化学療法看護 藤倉明美

はじめまして、がん化学療法認定看護師の藤倉です。2012年に資格取得し、現在とちの木病院でがんの薬物治療を受ける患者の指導や支援を行ない、また薬物治療に関わる看護師の指導教育にあたっています。この分野の認定を目指したのは、がん治療に有効な新薬が増加している中、高齢化するがん患者に今までの支援のみでは患者の満足する看護や情報提供ができないと感じたからです。これからも、治療継続する患者とそれを支える家族の支援に努めていきたいと思っております。

感染管理 別井一之

私は、2014年に感染管理認定看護師の資格を取得し、専従の感染管理者、院内感染対策チームの一員として患者、面会の方々、病院職員を医療関連感染から守るため活動を行っています。私たちの身の回りには目に見えない様々な病原体が存在しています。また、グローバル化により、突然の再興感染症、新興感染症などの流行も少なくありません。患者、職員の感染リスク軽減、医療関連感染対策を図るためには、皆様のご理解、ご協力、実践が必要不可欠となります。よろしくお願い致します。

慢性呼吸器疾患看護 小藤有希

呼吸器疾患に関心を持つようになり、2014年に資格を取得しました。私の分野は慢性期であり、長期に病気を抱えている慢性閉塞性肺疾患などの方が主な対象となります。現在は病棟業務をしながら呼吸ケアチームに所属させて頂き、人工呼吸装着中の患者さんのラウンドを行っています。まだまだ勉強不足でお役に立てないことばかりですが、少しでも皆様のお役に立てればと思っています。よろしくお願い致します。

